

初夏の花(奈良女子大学メールマガジンより抜粋)

緑葉に真白い花は初夏のコントラストとして眩しく見えます。いつ頃でしょうか？ この時期には大学構内の池に睡蓮の花を見つけることができます。

【お願い】奈良女子大学メールマガジンは6月21日時点で400号の配信となりました。読者数は880名程度です。メールマガジンへの配信記事(研究会広報、大学構内写真、大学周辺写真等)がございましたら、e-magazine@cc.nara-wu.ac.jp までお送りください。

1. 平成25年度より本学へ着任された先生方へ 「研究紹介集 2012-2013」WEB版へのデータ作成をお願いします。

平成25年3月末日に在籍しておられる先生方の研究概要を簡易にまとめた「研究紹介集2012-2013」は、大学HPでも公開しています。平成25年4月以降に着任された先生方の研究概要につきまして、HPに追記していきますので、ご協力をお願いいたします(詳細は個別にご連絡します)。

2. 研究成果最適展開支援プログラム A-STEP (JST) 公募中です。

公募期間 平成25年6月11日(火)～7月31日(水) 正午

平成25年度の公募では、革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)と連携し、COI STREAMで設定されるビジョンに沿った研究提案が募集されています。

【起業挑戦】ステージ 予定採択数2課題程度

支援タイプ名	起業挑戦タイプ	起業挑戦タイプ(若手起業育成)
支援目的	起業家と研究者が協力したベンチャー企業設立のための研究開発・起業準備を支援	起業意欲のある若手研究者による、自らの研究成果の実用化を目指した研究開発を支援
申請要件	大学等の研究者と起業家と起業支援機関の3者	大学等の若手研究者と同機関の起業支援機関
助成	最長3年間 総額1億5千万円まで	最長3年間 4500万円まで

【産学共同促進】ステージ 予定採択数50課題程度

支援タイプ名	ハイリスク挑戦タイプ	シーズ育成タイプ
支援目的	顕在化したシーズの実用性検証から実証試験までの研究開発フェーズを対象に、リスクの高い研究開発を支援	顕在化したシーズの実用性検証のため、中核技術の構築を目指した本格的な産学共同研究開発を支援
申請要件	開発実施企業と大学等の研究者	開発実施企業と大学等の研究者
助成	最長3年間 6千万円まで(マッチングファンド)	最長4年間 2億円まで(マッチングファンド)

【実用化挑戦】ステージ 予定採択数5課題程度

支援タイプ名	実用化挑戦タイプ(中小・ベンチャー開発)	実用化挑戦タイプ(創薬開発)
支援目的	研究開発型中小・ベンチャー企業での実用化に向けた開発を支援	革新的な医薬品の実用化開発を支援(～フェーズIIa)
申請要件	シーズの発明者・所有者の了承を得た開発実施企業(資本金10億円以下)と大学等の研究者	シーズの発明者・所有者の了承を得た開発実施企業(資本金300億円以下)と大学等の研究者
助成	最長5年間 3億円まで(実施料納付有)	最長5年間 10億円まで(実施料納付有)

革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)

大要：ビジョン主導型の研究開発

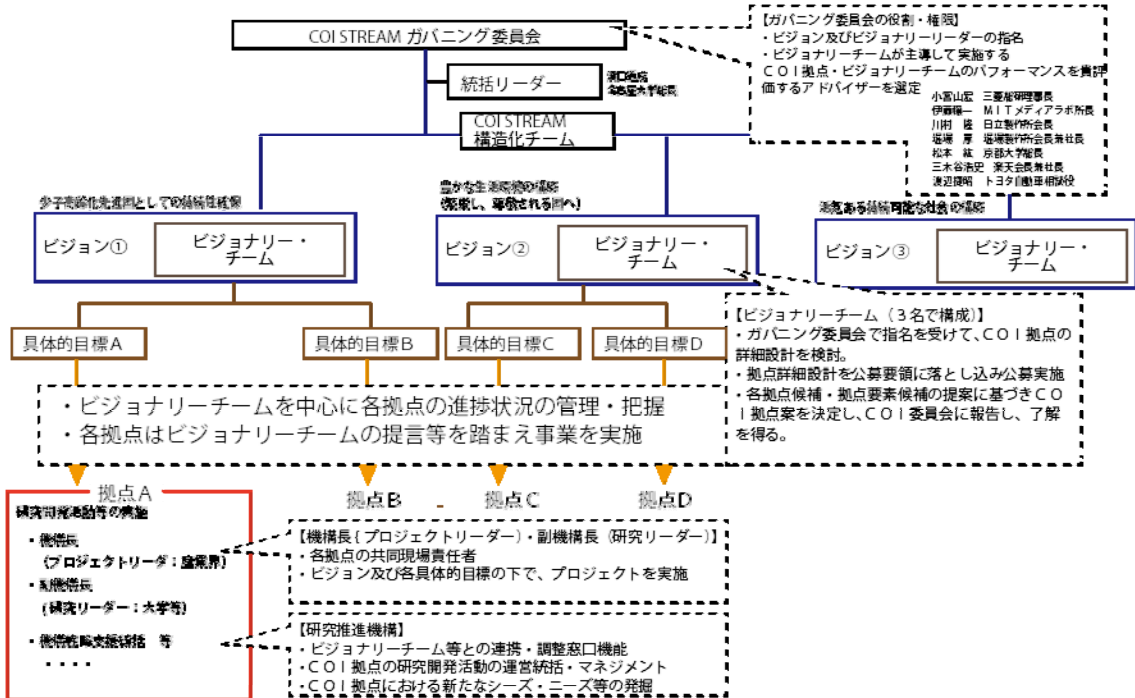
現在潜在している将来社会のニーズから導き出されるあるべき社会の姿、暮らしのあり方を設定し、このビジョンを基に10年後を見通した革新的な研究開発課題を特定。以下の3つのビジョンに沿った枠組みにおいて、将来ニーズからのバックキャストिंगでの提案を公募中。

3つのビジョン

- ・ 少子高齢化先進国としての持続性確保
終身現役、少子化の克服、一人ひとりみんなの可能性が開く社会、人と人との絆を大切にする社会をいかに持続的に築いていけるか
- ・ 豊かな生活環境の構築（繁栄し、尊敬される国へ）
個の参画や感性を踏まえた新たな形のものづくりなどいかにスマートな社会システムを構築していくことができるだろう。
- ・ 活気ある持続可能な社会の構築
制約なく個人がいきいきと生きていける社会とそれを支える社会システムをいかに好循環で両立できるか

申請資格

- ・ 小規模な研究開発を含む自由な発想による研究開発を期待。一機関からの複数提案可。
- ・ 既存技術や社会システム等との組み合わせによる新たな価値創造も重視。
- ・ 大学等単独、企業単独、大学と企業の連名、いずれも申請可
- ・ 拠点形成はガバニング委員会が決定（下図）
- ・ 応募を受け付けた後、ビジョナリーチームによる拠点の作り込みを実施。
- ・ 提案された構想について、提案機関からのヒアリング等を踏まえつつ、研究課題やチームの追加、テーマの統合のほか最適な拠点を構成するための体制の作り込みを実施。



3. 今後の予定

■ けいはんなビジネスメッセ（'13.7.19）

89

奈良女子大学

研究の概要や学内共同研究事例の紹介と研究グッズ冊子の配布

■ 概要

「古都奈良の文化財（世界遺産）」に隣接する本学では、歴史的文化と科学技術との融和による豊かな知空間の創造、地域密着型の教育プロジェクト推進による実践的な人材育成などを積極的に行っています。

■ 出展内容 / PR

ビジネスメッセの重点分野「環境・エネルギー、ものづくり・ICT、光、バイオ・健康・医療」に添った研究事例の紹介、および全学教員の研究をまとめた冊子の配布等を行います。

会期 平成25年7月19日（金） 10:00-17:00

場所 けいはんなプラザ

出展 全109団体

大学は 京都大学、同志社大学、奈良県立医科大学、奈良先端科学技術大学院大学、奈良女子大学が参加。

ビジネスメッセの重点分野「環境・エネルギー、ものづくり・ICT、光、バイオ・健康・医療」に沿った研究成果をご提出いただける方は 7月12日までに社会連携センター（内線3734）にご連絡ください。

■ イノベーション・ジャパン2013（'13.8.29~30）

国内最大規模の産学マッチングイベント イノベーションジャパン2013においては
研究院自然科学系 准教授 竹内孝江先生の
「カビ臭スペクトルデータベース構築とカビ種検出ソフトウェア”MVOC Finder”の開発」
での研究成果が採択されています。

8月29日から30日の2日間、東京ビッグサイトでの開催です。

会期 平成25年8月29日（木） 9:30-17:30

8月30日（金） 10:00-17:00

場所 東京ビッグサイト

4. グッズ

在庫がなくなっており、皆様にご不便をおかけいたしました**手提げ袋等も揃いました**。公開講座、学会等では右記オリジナルメモブックもご利用ください。

Size A5 32p



5. 各種公募情報

ここでは研究助成公募を載せています。

各種表彰などについては<http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/josei/koubo.html>をご参照ください。

また本学に募集のあった共同研究の公募については<http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/josei/kyoudou.html>をご参照ください。

（公財）光科学技術研究振興財団 平成25年度A.研究助成 B.研究表彰

【公募時期】平成25年7月31日（必着）

【助成対象】光科学技術に関する研究 A:平成25年度募集課題

1.光科学の未知領域の研究—とくに光の本質について 2.細胞間あるいは分子間の情報伝達についての研究

【助成金額】A.総額約5千万円 B.総額100万円

【応募対象】B.35歳以下の研究者

（公財）ダノン健康栄養財団 平成26年度ダノン学術研究助成金

【公募時期】平成25年7月31日（消印有効）

【助成対象】栄養・食品と健康に関する基礎的、臨床的、または疫学的研究

【助成金額】総額1,200万円/年 研究期間は原則1年間(H26/1-H26/12)

【備考】間接経費(オーバーヘッド)は助成対象外

（公財）松尾学術振興財団 第26回(平成25年度)松尾学術研究助成候補推薦

【学内締切】平成25年7月22日

【助成対象】原子分子物理学及び量子エレクトロニクスに関する実験的・理論的研究

【助成金額】総額約2000万円。助成件数は5~6件程度。

【備考】若手研究者を優先

(公財)井上科学振興財団 第6回(2014年度)井上リサーチアワード

【学内締切】平成25年7月22日

【助成対象】自然科学の全分野

【助成金額】500万円/人 2年

【応募対象】博士の学位取得後9年未満(H26/3/31現在)の研究者
(ただし、出産、養育のための研究中断期間は年限に含めない)

【備考】申請は郵送とEメールの両方要 間接経費使用不可

(公財)ユニバーサル財団 2013(平成25)年度研究助成

【学内締切】平成25年7月23日

【助成対象】「健やかでこころ豊かな社会をめざして」を基本テーマとした研究

【助成金額】上限100万円/件

【応募対象】大学院生申請可(博士前期課程在籍者は、指導協力教員を必要)

【備考】申請される場合は、倫理委員会等の承認を得てから、申請書類を研究協力課へご提出ください。

(公財)ロッテ財団 平成25年度 A.研究者育成助成<ロッテ重光学術賞> B.奨励研究助成

【学内締切】平成25年 A.8月19日 B.7月18日

【助成対象】「食と健康」に関する広域科学分野

【助成金額】A.5年間 1500万円/件・年 B.1年間(最長3年) 上限300万円/件

【応募対象】A.博士号取得後、研究実績を有する30歳から40歳(S48/4/1-S58/4/1生まれ)までの研究者
教授、准教授、講師、助教、助手の方は対象外

B.博士課程修了者または単位取得退学者で、40歳(S48/4/1生まれ)までの研究者

【備考】AB重複して受けることはできません

(公財)岩谷直治記念財団 第40回(平成25年度)岩谷科学技術研究助成候補者推薦

【学内締切】平成25年7月19日(正午)

【助成対象】エネルギー及び環境に関する優れた研究

【助成金額】上限200万円/件

【備考】大学院研究科長の推薦要 間接経費(オーバーヘッド)は助成対象外

(公財)大和証券ヘルス財団 平成25年度(第40回)調査研究助成

【公募時期】平成25年7月31日(消印有効)

【助成対象】中高年・高齢者の保健・医療及び福祉等に関する調査研究

【助成金額】100万円/件

(公財)稲盛財団 2014年度稲盛財団研究助成

【学内締切】平成25年7月17日

【助成対象】自然科学系、人文・社会学系、2014年度優先分野:自然科学系において「バイオテクノロジー及びメディカルテクノロジー」、「数理科学(純粋数学を含む)」分野

【助成金額】100万円/件

【応募対象】自然科学系では40歳以下の若手研究者を優先

【備考】間接経費は助成対象外

(公財)生協総合研究所 第11回(2013年度)生協総研賞「助成事業」

【公募時期】平成25年8月2日(消印有効)

【助成対象】人々の暮らしをめぐる研究及び生活協同組合運動に関する研究

【助成金額】個人研究:上限30万円/件 共同研究:上限50万円/件

【応募対象】大学院生応募可

(株)リバネス 第16回リバネス研究費 A.ナブテスコ奨励賞 B.Pall ForteBIO賞 C.はなまる賞

【公募時期】平成25年7月31日(24時着)

【助成対象】A:介護、福祉に関連する技術もしくはサービスに関する研究テーマ 1件

B:BLitzの無償貸与およびご希望のバイオセンサー(1トレイ、96本入り)を用いた研究

C:健康の維持・増進につながる食に関する研究

【助成金額】上限50万円/件 他

【応募対象】若手研究者(40才以下)

【備考】申請には会員登録が必要

(公財)発酵研究所 平成26年度(2014年度)助成

A.一般研究助成 B.大型研究助成 C.若手研究者助成 D.寄附講座助成

【学内締切】平成25年 ABC 8月8日 D 8月30日(正午)

【助成対象】A.B:微生物(細菌、アーキア、菌類、微細藻類)に関する研究
C.微生物の分類、生態、進化に関する研究 D.微生物学全般

【助成金額】A.300万円/件 B.1千万円/件 C.500万円/年 D.2億5千万円

【応募対象】C.ポスドクとして日本の研究機関で微生物に関する研究を行う日本人
(H26/4/1現在、満40才以下の者) 所属機関責任者推薦書及び受入機関責任者承諾書要
D.教員は満55才以下(H26/10/1時点)が望ましい

【備考】重複応募不可

(株)リバネス 第16回リバネス研究費 A.ナプテスコ奨励賞 B.Pall ForteBIO賞 C.はなまる賞

【公募時期】平成25年7月31日(24時着)

【助成対象】A:介護、福祉に関連する技術もしくはサービスに関する研究テーマ 1件
B:BLitzの無償貸与およびご希望のバイオセンサー(1トレイ、96本入り)を用いた研究
C:健康の維持・増進につながる食に関する研究

【助成金額】上限50万円/件 他

【応募対象】若手研究者(40才以下)

【備考】申請には会員登録が必要

(財)新村出記念財団 平成25年度A.新村出研究奨励賞B.刊行助成事業

【公募時期】平成25年7月31日(着)

【助成対象】A.言語学・日本語学及びこれに関連する分野
B.言語学・日本語学の範囲で資料的に価値があるもので、刊行が商業的に困難と認められるもの

【助成金額】A.60万円/件 B.総額上限100万円

【備考】A.研究指導者等の推薦状要 新村出賞と併せて応募不可 B.研究奨励賞・新村出賞と併せて応募不可

やすや食と健康研究所 2013年度研究助成 A.一般部門 B.チャレンジ部門

【公募時期】平成25年8月8日(17時必着)

【助成対象】さまざまな食品・食生活習慣と健康とのかかわりに焦点を当てた研究

【助成金額】A.1-3年 50-300万円/件 B.最大3年 上限50万円/件

【応募対象】B.35歳未満の研究者。学生・大学院生応募可

【備考】E-mailで応募 A.B併願不可

(公財)小野医学研究財団 平成25年度 A.研究助成 B.研究奨励助成

【学内締切】平成25年8月7日(正午)

【助成対象】脂質代謝異常に伴う諸疾患の病態生理・治療・疫学に関する研究

【助成金額】A.200万円/件 B.100万円/件

【応募対象】B.満40歳以下の研究者(H25/6/1現在)

【備考】学系長推薦要(1推薦者AB各1件) AB重複申請不可
申請書類は紙ベースとメール(PDFファイル)の両方要

(公財)明治安田厚生事業団 第30回若手研究者のための健康科学研究助成

【学内締切】平成25年8月8日

【助成対象】a.指定課題:運動とメンタルヘルス b.一般課題:健康増進に寄与する学術研究

【助成金額】a.100万円/件 b.50万円/件

【応募対象】修士以上の学位を有する40歳未満(申請時)の研究者

【備考】E-mailで応募 a.b.重複申請不可 間接経費(オーバーヘッド)は助成対象外

(公財)栢森情報科学振興財団 平成25年度研究助成

【公募時期】平成25年8月31日(必着)

【助成対象】情報科学に関する研究 A:研究助成 B:フォーラム・シンポジウム等開催助成

【助成金額】A:総額1,500万円 B:総額100万円/年度内

(公財)KDDI財団 2013年度調査研究助成

【学内締切】平成25年7月17日

【助成対象】情報通信の普及・発展、グローバル化に寄与する調査、研究

【助成金額】上限300万円/件

【備考】申請は電子メールと郵送の両方要 間接経費(オーバーヘッド)は助成対象外

(財)上廣倫理財団 平成25年度研究助成

【学内締切】平成25年8月22日

【助成対象】倫理及び倫理教育に関する研究

【助成金額】A.60万円/件 B.120万円/件

【応募対象】概ね45歳までの研究者 博士課程満期退学・修了者は指導教員の推薦状提出で応募可

【備考】事務経費助成対象外

(公財)上原記念生命科学財団 平成25年度研究助成

【学内締切】平成25年8月21日 正午

【助成対象】生命科学、特に健康の増進、疾病の予防および治療に関する研究 A.研究助成金 B.研究奨励金

【助成金額】A.500万円/件 B.200万円/件

【応募対象】B.S51/4/1以降に出生の若手研究者 学系長推薦要(1推薦者AB各1件)

【備考】間接経費(オーバーヘッド)は助成対象外

(公財)ノバルティス科学振興財団 第27回ノバルティス研究奨励金

【学内締切】平成25年9月2日 正午

【助成対象】生物・生命科学および関連する化学の領域における創造的な研究

【助成金額】100万円/件

【応募対象】大学院研究科長の推薦要 原則として博士号を有する研究者(2014/3末までに取得見込みを含む)

【備考】申請E-mailと郵送の両方要 間接経費は助成対象外

(公財)ノバルティス科学振興財団 平成26年度(2014年度)研究集会助成

【公募時期】平成25年9月30日(必着)

【助成対象】生物・生命科学および関連する化学の領域における国内開催の研究集会

【助成金額】40万円/件

【備考】H26/4~H27/3末に開催される集会 申請E-mailと郵送の両方要

(公財)新世代研究所 2013年度ATI研究助成

【公募時期】平成25年7月17日 15時(必着: E-mailでの事前登録)

【助成対象】ナノサイエンス

【助成金額】50万円/件

【応募対象】満35歳以下(H25/9/30現在)の若手研究者 学生、大学院生を除く

【備考】電子申請のみ オーバーヘッドは助成対象外

(公財)鈴木謙三記念医科学応用研究財団 平成25年度調査研究助成

【公募時期】平成25年7月31日(消印有効)

【助成対象】課題1:より豊かな生活に貢献する医療技術に関する研究 課題2:生活習慣病における医学、薬学の萌芽的研究

【助成金額】課題1:500万円以下/件 課題2:200万円以下/件

【応募対象】課題2:満45歳以下(S42/8/1以降生まれ)の研究者

【備考】1研究室から1課題

(財)人工知能研究振興財団 平成25年度人工知能研究助成

【公募時期】平成25年9月30日(必着)

【助成対象】人工知能及びその関連技術分野の高度化に関する調査、研究

【助成金額】上限100万円/件

社会連携センター センター長 内田忠賢(研究院人文科学系)

産学連携推進部門 部門長 城和貴(研究院自然科学系) 小川伸彦(研究院人文科学系) 狐崎創(研究院自然科学系)

藤平真紀子(研究院生活環境科学系)

地域連携推進部門 部門長 小林 毅(研究院自然科学系) 藤原素子(研究院人文科学系) 植野洋志(研究院生活環境科学系)

藤野千代(産学官連携コーディネータ) 大原昌一(研究協力課) 山下ひとみ(研究協力課研究協力係)

窪田順一(研究協力課社会連携推進係)